



中央検査部だより

2020年3月吉日発行 第72号



2019年度を振り返って

中央検査部 部長 上田一之

早いものでもうすぐ年度が終わろうとしています。今年度を振り返ってみますと昨年2月に導入した検体の自動搬送システムが本格稼働したのに合わせて余剰人員を生理機能などの他部門に配置し、より充実した検査体制を構築できました。また10月の病院機能評価では、我が中央検査部はS評価を頂きました。おかげで我が家では家族旅行で函館2泊3日の旅をゆっくりとかつ楽しく過ごすことができました、これも日ごろから頑張っておられる技師さん達の精進の賜物と感謝しています。さて今年はどこへ行こうかなと図々しく考えているこの頃ですが、調子に乗るんじゃない！とお叱りをもらいそうでこっそりと計画を立てようと思います（もうばれたか、笑）。

次年度は技師2名を増員していただいたのを受けて外来採血に技師3名を派遣することになっています。昨年末より担当技師を決めて採血の練習を積み今年1月よりは現場で技術を磨いてきています。まだまだ未熟で現場ではご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが看護師不足に対する一助となるべくがんばりますのでどうぞよろしくをお願いします。

中央検査部は「開かれた明るい愛される部門」を合言葉にして日々の業務を行っています。質問、苦情、要望などありましたらどしどしお寄せいただければ誠心誠意対応いたします。Don't hesitate to tell us!!.



外来採血業務について

中央検査部 副技師長 藤原智子

4月より、看護部が行っている外来採血の一部を検査部が携わることになりました。

標準採血ガイドラインの熟読に始まり、マニュアル作り、採血室の環境整備など、定期的にディスカッションしながら準備を進めてきました。担当看護師さんの指導の下、採血手技はもちろんのこと接遇や感染対策など数か月間の実践を経て、今では当初と比較すると看護師さんにサポートして頂くことが少なくなったと感じています。検体採取が検査結果に及ぼす影響を熟知している臨床検査技師が採血業務に携わることは大きな意義がある一方、安全な採血を行うためには熟練した技術が求められます。また、採血が終了するまでのほんの短い時間ですが、患者さんとのコミュニケーションも重要です。まだまだ、看護師さんには到底及ばない採血技術なので検査結果の遅れが生じることもあるかと思いますが、検査部一丸となって採血業務に取り組んで参ります。

将来的には、採血部門のシステム化も視野に入れて安心安全な採血を提供したいと思います。



病院機能評価を受審して

中央検査部 副技師長 久原弘子

昨年受審した病院機能評価において、臨床検査部門は S 判定（秀でている）、病理部門と輸血部門は A 判定をいただきました。2007 年に ISO15189 の認定を受け、その後も継続して内部監査等を行っていること、7 時から病棟検査を、7 時 30 分から外来検査を実施していること、異常値や病理の悪性所見の報告体制、輸血機能評価認定（I&A）の取得等が評価されました。

今後もこのような高評価がいただけるよう更に検査の質を高めるとともに、臨床に貢献できるよう努力して参ります。



検査室紹介 生理機能検査室



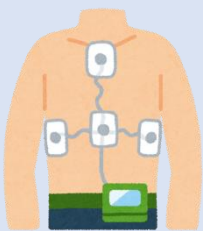
生理機能検査室では、心電図検査、超音波検査、脳波検査、肺機能検査など幅広い検査を行っています。中でも超音波検査は、非侵襲的に多くの生体内情報を得られるため、依頼件数も年々増加しています。中には所見の解釈に苦慮する症例がありますが、他の技師や医師と積極的にコミュニケーションを取り、臨床的に妥当性のある結果を返すよう努めています。前述のように依頼件数は増えていますが、超音波検査は検者依存性の高い検査です。そのため、毎月部内勉強会や症例検討を行い、生理機能検査室全体をしての検査スキル向上に努めています。今後も正確かつ迅速な検査を行うよう努めて参りますので宜しくお願い致します。



ホルター心電図が新しくなりました！

2月13日よりホルター心電図の機械が新しくなりました。以前は機械を取り付けると24時間入浴禁止でしたが、今回から防水機能が付いたため入浴可能となります。また、追加でLP（レートポテンシャル）付きのホルター心電図1台（非防水）と12誘導付きのホルター心電図1台（非防水）がそれぞれ追加されました。さらに、報告様式も紙運用ではなく電子カルテから閲覧可能となり、より便利になりました。

今までと同じ通常のホルター心電図は従来通りのオーダー方法と変わりありません。LPや12誘導付きをご希望の際には電話対応のみとなっておりますのでご了承ください。何かご不明な点等ございましたら、生理機能検査室（内線：515）にご連絡いただくと幸いです。



編集委員：守田、田村、佐伯、伊藤、田島